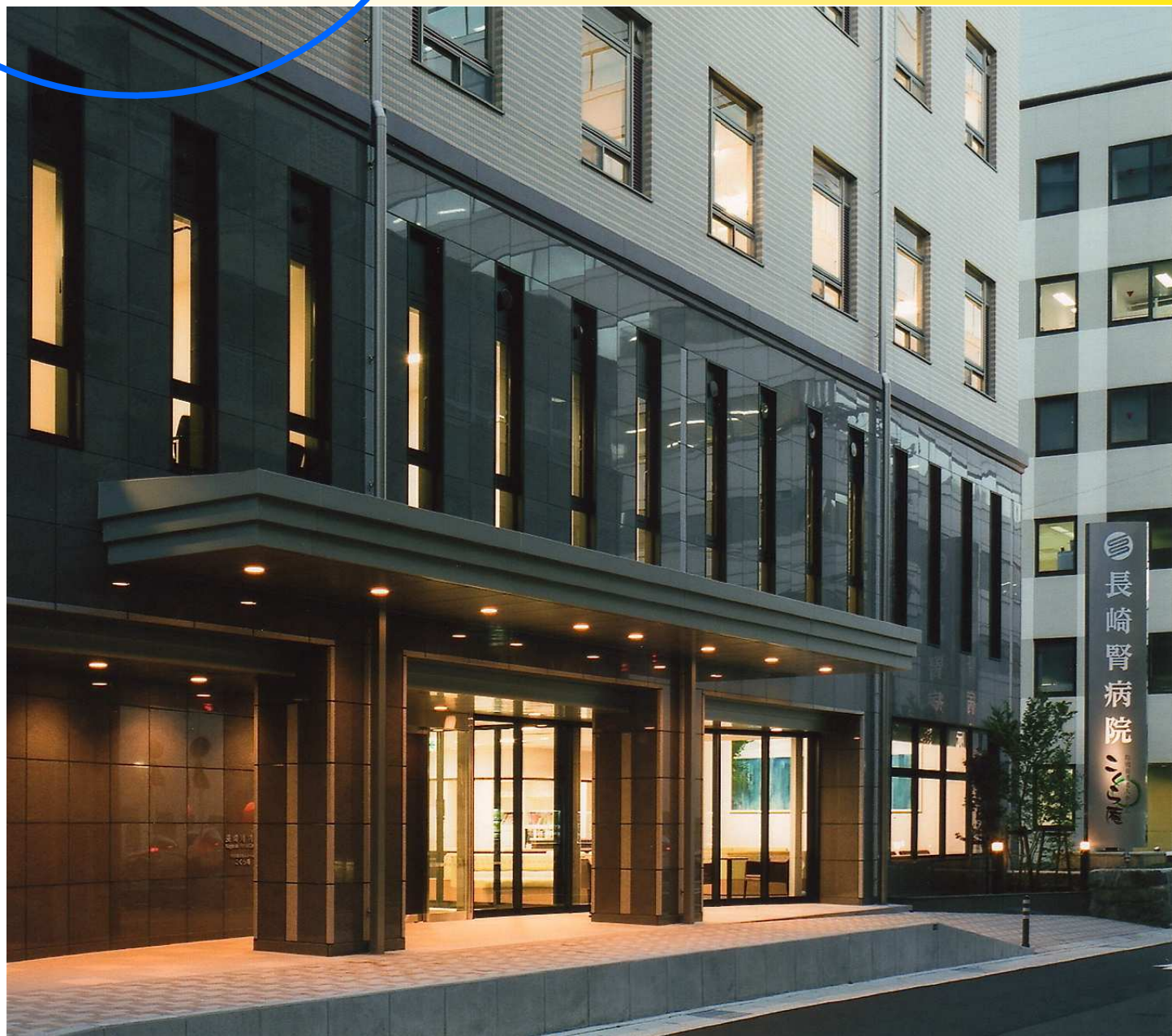


ながじんまがじん



— 理念 —

衆和会は、透析医療を中心とした24時間対応の腎疾患専門施設として、地域社会に貢献します。

— 基本方針 —

1. 自己研鑽による透析技術の飽くなき追求
2. いかなる場合でも、緊急血液浄化に24時間対応
3. 世界最高レベルの維持透析医療の提供
4. 患者様中心の機能的なチーム医療
5. 患者様の権利を守る
6. 地域の医療・福祉との連携
7. 入院を必要とする患者様の受け皿

特集：長崎腎病院部門紹介第3弾

- ☐ 理事長 新年のご挨拶
- ☐ Drコラム バスキュラーアクセスのことについて
- ☐ 安全対策チーム 針と注射の歴史
- ☐ トピックス サンタクロースがやってきた
- ☐ 感染委員会コラム 日常でできる感染対策
- ☐ 外来のご案内

TAKE FREE ご自由にお持ち帰りください



新年のご挨拶



2012年は辰年。「辰」とは漢書の律暦志によれば「振」とのうで、草木の形が整った状態を表しているとされ、覚え易くするために神話上の動物である龍が割り当てられたそうですね。2011年7月に長崎腎病院・長崎腎クリニックが名前も新たに出発し、2012年はこれが「ととのう」年にしたいものです。

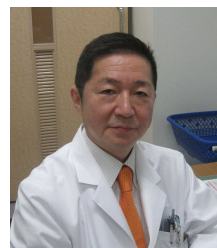
新年早々縁起でもない話ですが、マヤ文明の暦を曲解したマスコミが、2012年12月を人類滅亡の年などとは



やし立てています。実際には単なる時間の区切りであり、神聖なマヤの文化を話のタネにはいけません。さて、もう忘れた方も多いと思いますが、1999年12月にもノストラダムスの予言を引用して人類滅亡説でずいぶん騒がれました。

でも、もし2000年の元日になったとたん銀行や会社や病院のコンピューターがリセットされてしまったら真っ青、世の中はそれどころではありませんでした。

その時のお話。透析医会でも事の重大さを取り上げ、『2000年1月1日の午前1時までに、各透析機関はPCの異常の有無を本部に報告すべし』との約束事を作りました。2000年が来て問題なく全ての機器は作動し、ホッとした当時の技師長は、透析医会への連絡をつい忘れてしまいました。後日それを知ったH先生は技師長を叱責してひとこと、「いいか、3000年問題のときには絶対に忘れぬように」。



医療法人衆和会
理事長 船越 哲

…新年早々、つまらないお話で失礼しました。

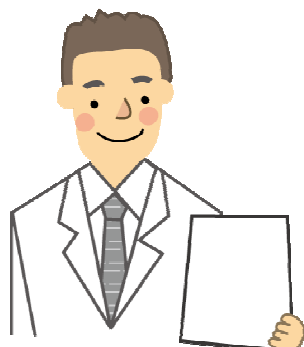
Drコラム

バスキュラーアクセス

(シャント) のことについて

昨年、桜町病院と桜町クリニックが統合して長崎腎病院が誕生しました。長崎市の中心部に移転し、腎疾患の分野、特に透析療法を中心とした地域医療における使命をさらに拡大してゆくことが期待されます。今年は新しい出発の年となります。衆和会は患者主体の医療を中心理念に掲げています。私どもスタッフ一同は、患者さんと共に治療方針を考え、病気の治療に当たります。

このコラムを使って、皆さんの関心事をトピックスとして取り上げたいと思います。今回は、透析医療において命綱であるシャントについてお話をしたいと思います。



シャント、いわゆるバスキュラーアクセスは、血液透析において、上肢動静脈を吻合することによって、血管を発達させて、そこから血管穿刺を行います。自己血管が乏しい場合は、グラフトといわれる人工血管を植え込む場合もあります。シャントは透析治療において絶対的に欠かせないものであり大変重要

です。しかし、何事もなく透析医療を続けているうちに、ケアの意識がだんだん薄れてゆくことがあるかもしれません。安全に透析治療を継続するためには、シャントについて正しい知識を持ち、常にシャントのことを気遣い、毎日シャント音を聞き、シャント血管を触れたり、シャント肢の色を観察する習慣を身につけることが大事だと思います。シャント異常に気付きましたら、すぐにスタッフにお伝えしましょう。シャントの異常についてよくみら

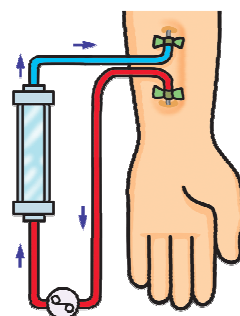
れるのは狭窄、閉塞、感染、瘤形成、静脈高血圧およびスチール症候群などが挙げられます。狭窄はシャント血管が細くなることで、よく見られる合併症です。特に吻合部のすぐ上によく起こります。動脈から流れの速い大量の血液が静脈へ直接流れ込み、乱流や渦流が発生し血管壁に強いストレスが生じます。それに対抗するために薄く柔らかい静脈壁が厚みを増していきます。そして肥厚してついに狭窄の症状が現れます。狭窄を起こした部位により脱血不十分で血流不全の症状、または血液がスムーズに体に戻っていかないため静脈圧上昇などの症状が出てきます。人工血管の場合は、より大量の血液が流れ込むため、人工血管と自己血管のつなぎ目、いわゆる流出部静脈側の部位は狭窄を起こしやすくなります。シャント狭窄が強く進行した結果として血管が閉塞してしまい、いわば「非血栓性閉塞」に至ります。

また何らかの原因によって生じた血栓が血流を遮断し、いわゆる「血栓性閉塞」のこともあります。低血圧、脱水、圧迫、感染、過凝固、穿刺ミス等が血栓を発生させて閉塞の原因となります。

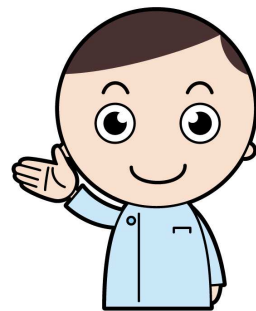
閉塞を起こす一番多い原因は狭窄です。閉塞の原因が狭窄であれば、治療は血栓を除去し狭窄部の拡張が必要となります。以前はおもに再建の手術が行われていたが、近年、経皮的血管形成術(PTA)の進歩により多くの症例に行われるようになりました。



長崎腎病院
副院長 西村 嘉明



特集 部門紹介



平成23年7月4日に桜町病院と桜町クリニックが統合され「長崎腎病院」が開院しました。今回は部門紹介第3弾です。リハビリテーション課、放射線課、情報セキュリティ委員会、栄養課について紹介します。

■リハビリテーション課

長崎腎病院 理学療法士 林 涼子

長崎腎病院開院時に、リハビリテーション課を新設し、4階にリハビリ室を設けています。現在、入院患者さんを中心に、常勤1名・非常勤1名で活動をしております。まだまだ手探りではありますが、日々新たな経験をさせて頂き、透析患者さんへのリハビリの有用性を考えながら、なるべくご希望に沿えるよう頑張っています。



リハビリテーションとは・・・？

最近、“リハビリ”という言葉をよく耳にするようになってきています。リハビリ頑張っね！と言われることはありませんか？

《リハビリテーション》という言葉には、広い意味があります。

リハビリテーション(Rehabilitation)は、『訓練』という意味だと思われがちですが、

re 『再び・戻す』
Habilis 『適した・ふさわしい』(ラテン語)
ation 『すること』



から成り立っています。

つまり、単なる機能回復だけではなく「人間らしく生きる権利の回復」や「自分らしく生きる」ことが重要であり、そのために行われるすべての活動が《リハビリテーション》であると考えています。

それには、私達理学療法士・作業療法士などの専門職だけでなく、さまざまな職種の方々が関与しますし、さらに介護スタッフや家族の支えもとても大切になります。

それぞれの方にさまざまな症状があり、生活環境も同じではありません。その中で、各人が自分らしく生きられるよう、個々に適したリハビリテーションの提供を心がけていきたいと思います。御意見・御質問等ございましたら、気軽に声をかけて下さい。

放射線課

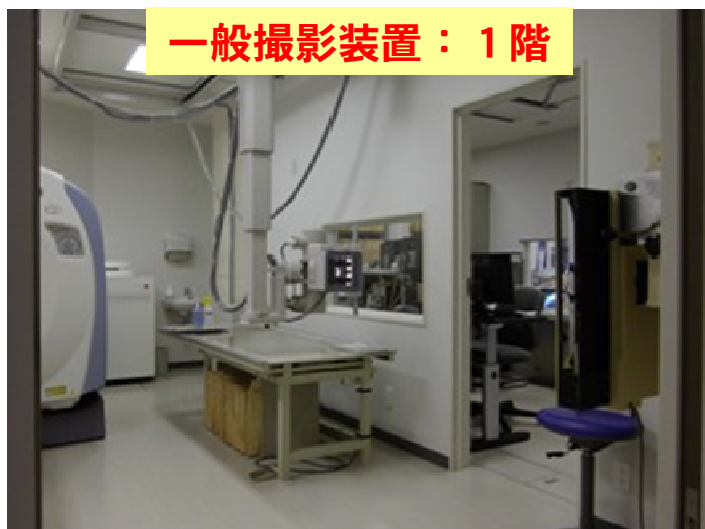
長崎腎病院 大山 智之(主任),小嶋 幸徳 長崎腎クリニック 塩屋 浩徳

こんにちは、長崎腎病院に引っ越してから半年が過ぎました。季節も冬になりましたね、お変わりありませんか？さてX線検査の画像診断は一部アナログの所を残していますが、デジタル画像処理システムに移行しました。安全につながる環境整備の視点から、X線画像診断装置を紹介します。



16列 全身用CT

床から90cmの所までテーブルが上昇してスライドします。特に肘や膝が接触しないように注意して、からだは固定しています。



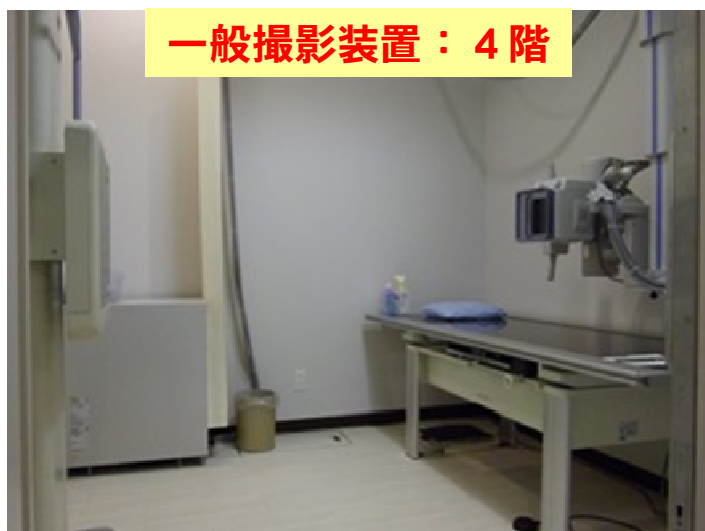
一般撮影装置：1階

胸部レントゲン写真は背中側から胸側の方向に撮影します。のど(気管)の状態と、胸(肺野)の状態に気を配り位置合わせをしています。(CT室と併用)



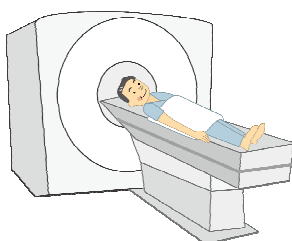
X線透視撮影装置

床から90cmの所までテーブルが上昇します。アームが上下左右に動きます。シャント肢と反対側がアームに接触しないように注意しています。



一般撮影装置：4階

構造上どうしてもつかまる所がありません。万が一の時にはすぐ支えられる位置で撮影しています。指など、はさみ込みにも注意しています。

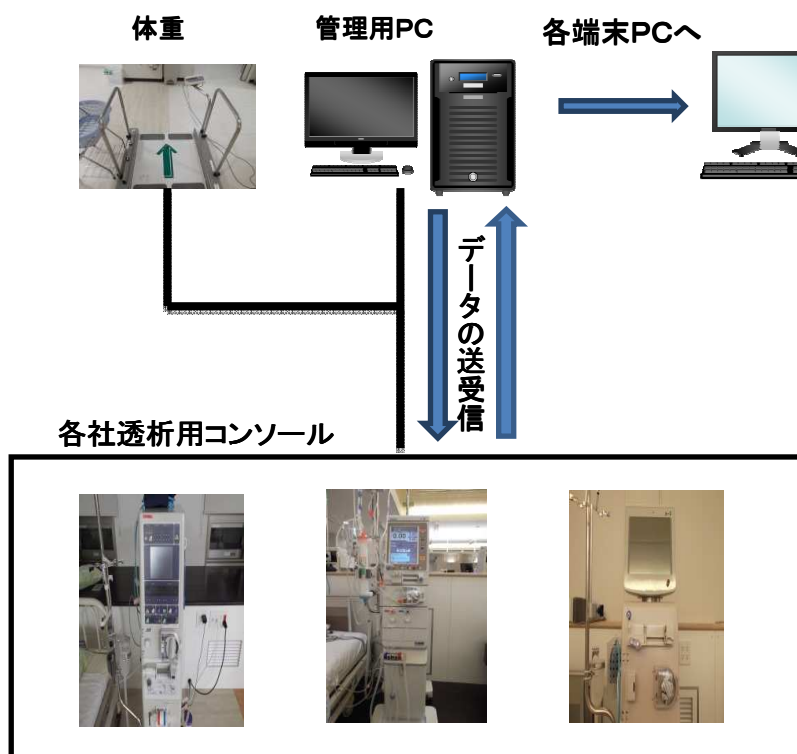


引っ越しの際は多大なご迷惑をおかけして、申しわけありませんでした。そしてたくさんのご協力ありがとうございました。

X線検査は、延食などの前処置、息止め、特に検査開始時間の調整に、たくさん無理を聞いてもらっています。とても感謝しています。今後も忙しくても笑顔を絶やさず接していきます。穏やかで平和な年でありますように願っています。風邪など、お体に十分気を付けてください。

IT化の進展に伴い、個人情報保護の重要性が一層高まっています。個人情報とは適正に利用すれば、診療上非常に有用なデータとなりえますが、反面、管理が不適切であると、個人データが外部に漏洩することにつながりかねません。衆和会情報セキュリティ委員会は、そのような電子保存された診療に関する情報の適切な利用と保存及び電子カルテシステム、それに連携するシステムの機器管理・運用を行っています。今回は長崎腎病院に移行して導入した新たなシステムについて紹介します。

透析システムの流れ



電子カルテシステムと透析用コンソール

衆和会では電子カルテシステム自体は、2003年に導入し運用していましたが、長崎腎病院移転を機に新たなシステムへ変更しました。

中でも大きな変更点が、透析用コンソールと電子カルテシステムの連携です。簡潔に透析システムの流れを説明しますと、まず、管理用PCは、患者様が入室(バーコードリーダーで認証)し透析前の体重を測定すると電子カルテ内の情報より除水量、除水速度を算出し、氏名、抗凝固剤持続速度等のデータと共に透析用コンソールへ送信します。→その後治療を開始します。

透析用コンソールは、透析中の装置の情報を管理用PCへ送信し、管理用PCは受信したデータを他の端末へ送信します。

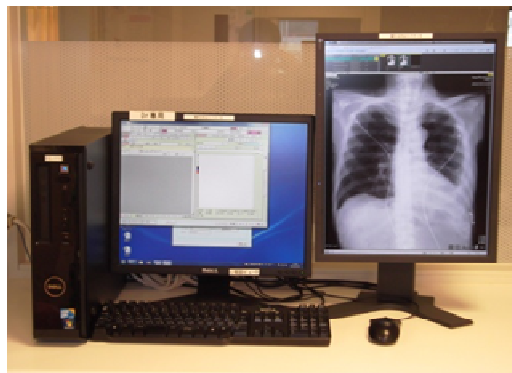
詳細は割愛させていただきますが、透析システムを導入したことで、透析業務が飛躍的に効率化されました。

画像診断システムとiPad

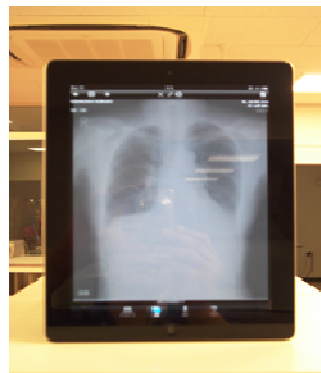
数年前まで胸部レントゲンなどの画像は、診断する際にフィルムに現像することが主流でした。

しかし近年は撮影データがデジタル化され、特殊な医療用モニターを用いればパソコン上でも診断が可能となりました。この医療用モニターは、汎用のパソコン用モニターよりも輝度・光度が高くグラフィック性能に優れているため、より詳細な診断が可能です。

iPad (アイパッド)は、昨年逝去された故スティーブ・ジョブズ氏によって創業されたアップル社で開発及び販売されているタブレット型コンピューターです。軽量で持ち運びに優れているためベッドサイドでの画像説明用端末として活用しています。



電子カルテ端末と医療用モニター



iPadに映し出したレントゲン画像



みなさんこんにちは。

栄養課は新病院移転に伴い、平成23年7月3日より給食業務が委託となりました。

(株)レオックという給食委託会社の皆さんと共に、病院入院患者、外来透析患者、特別養護老人ホームこくら庵入居者の方へお食事を提供しています。



1日の食数は入院患者170食、外来透析患者50～90食、こくら庵80食、1日合計300～340食を提供しています。

ご飯・汁物・漬物だけではなく、昼食時には職員食も提供しています。

スタッフは栄養士が病院1人、こくら庵1人、委託会社2人、委託会社調理師(員)が1日勤務・短時間パートの方も含めて12名、計16名で日々の業務に励んでいます。

主な業務内容は、委託会社に給食管理業務全般をお願いしています。こくら庵の栄養士はこくら庵入居者の栄養管理、病院栄養士は腎病院・腎クリニック外来患者(透析・一般外来)の栄養指導、病院入院患者の栄養管理を行っています。



今回の移転で大きく変わった点として給食業務が委託になった事が挙げられますが、一番の目玉はオール電化厨房になった事だと思います。

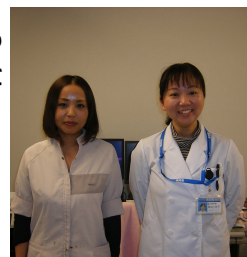
ガスを一切使用しないため厨房環境が快適になること、掃除がしやすくなること、CO₂の排出量がガスより少ないため環境にやさしい等の利点があります。

また今までの病院には無かった大型機械(スチームコンベクション、ブラストチラー、ティルティングパン等)も導入し、大量調理に適した厨房となりました。

このように綺麗で、最新設備が備わった厨房で働けるのを皆嬉しく思っています。



料理の味付けや組み合わせ等まだまだ課題は山積みですが、一人でも多くの方に美味しいと言ってもらえる食事提供を目指して、委託会社の方と一丸となって頑張りたいと思っています。今後も宜しくお願いします。



安全対策 チーム

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。長崎腎病院となって半年が経ちました。患者さんもスタッフもお互いに、顔と名前が一致するようになってきたのではないのでしょうか。

さて、今回は抜針の危険性についてお話しするつもりでしたが、もう何度も出していますので、『針・注射の歴史』でいきます。歴史的には、なんと古代エジプトで「注射器を想像させるような中空の針で、死んだ人が永遠の生命を得られるように血管に様々な薬物を注入していた」という記録があるそうです。また、2世紀の医師(?)でガレヌスという人は、いったいどのような

■ 針・注射の歴史



注射器を使っていたか不明ですが脳血管に薬物を注入していたとのこと(!)。近代の常識で考えられる注射は、フランスの外科医ブラバーズ(1791~1853)が浣腸器を改造して、はじめて注射器を作成したことに始まります。また、静脈への注射の効果が初めて認められたのは、同時期にヨーロッパで大流行したコレラ患者に対して現在の点滴薬に近い成分を静脈に注射したという報告があります。当時のことですから太くてギザギザで、刺す方も刺される方もさぞや大変だったでしょう。

…そんな当時では考えられなかったような話ですが、現在の透析の現場では「刺す事」より「抜ける事」が100倍くらい大変!!…これでやっと安全管理委員会らしいコラムの落ちとなりました。



広報委員 コラム

■ “高来町” の紹介

広報委員会 看護部 辻 誠

あけましておめでとうございます。今年も「ながじんまがじん」をよろしくお願いいたします。

突然ですが、今回は私の故郷である高来町の紹介をしたいと思います。よく島原方面にあると勘違いされるのですが“諫早市高来町”になりますので諫早市の佐賀県よりの場所になります。JRの特急かもめで福岡へ向かうと諫早駅をすぎたあと右手に海がみえてくるあたりです。(もちろん特急ですから高来町の駅には止まりません。)

高来町といえば轟峡が有名です。高来町の場所が分からない方でも轟の滝というと「行ったことある!」という返事が多く返って来ます。他にも海辺のカキ小屋や、最近では『幻の高来そば』なるものもテレビで紹介されていました。



そして私の一番のお勧めはこの景色です。有明海の向こうに雲仙普賢岳の雄大な姿。振り返れば多良岳、のどかな自然に包まれ最高です。

ただ、ひとつ残念なのは海と言いつつ写真の海に見える部分はほとんどが池だということでしょうか。(諫早湾干拓により調整池になってしまいました。)

池の話はさておき、みなさんも機会がありましたら高来町へ出かけてみてはいかがでしょうか。

トピックス

■ サンタクロースがやって来た!

長崎腎病院となって初めてのクリスマス、今年もサンタクロースはプレゼントを持ってやって来ました。院長サンタは、入院患者さん一人一人にプレゼントを手渡されました。プレゼントをもらった患者さんには笑顔が見られていました。病棟は、突然のサンタ訪問に一時賑やかな夜となりました。

来年もサンタさん待ってますよ~!!



感染委員会 コラム

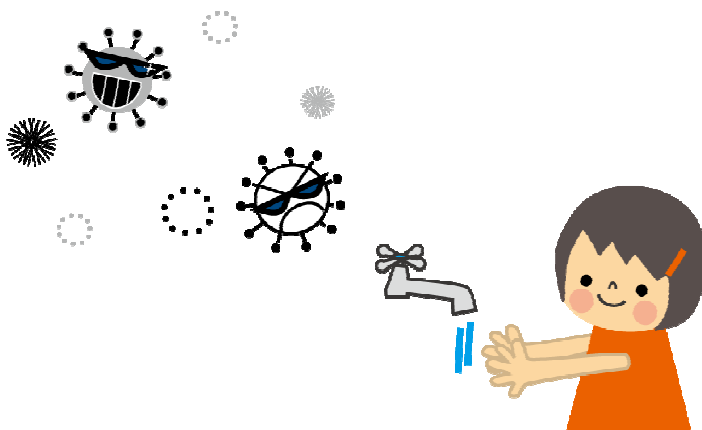
●透析患者さんが日常でできる感染対策について

長崎腎クリニック 看護部 上谷 しのぶ

透析患者さんは、高齢化や糖尿病患者の増加に加え、蛋白質やエネルギー不足、腎性貧血など腎不全による免疫機能の低下が指摘されています。

免疫力が低下すると感染症にかかりやすく、重症、難治性となることがあります。

透析患者さんの感染症の内訳は肺感染症が最も多く、次いで腹膜炎、敗血症、結核の順になっています。



では、どのようなことを気をつければいいのでしょうか。

○抵抗力を保つため、日常の自己管理に加え、しっかりと透析を行い、十分な栄養を摂取しましょう。

○喫煙者はぜひ禁煙を！

○楽しい「笑い」は免疫力をアップさせます。

○適度な運動。高齢者では自分で歩いて(ただ立ってさえ)いればOK

○シャント感染の予防に心がけましょう。透析前の手洗いはしていますか？

○感染(の防御策)対策には早期発見、早期治療も大切です。風邪などをこじらせないようにしましょう。

○インフルエンザの予防…「インフルエンザワクチン」接種はお済みですか？→インフルエンザにかかると肺炎を併発しやすくなります。

○慢性炎症をかかえていませんか？

虫歯・歯周病(歯槽膿漏)や副鼻腔炎(蓄膿)はありませんか？「透析患者は歯が命！」(口腔ケアは大切です)

「どこかおかしいな？」と感じたら、遠慮なくスタッフにお知らせください。

外来のご案内

診療科目 内科、腎臓内科、泌尿器科(長崎腎病院のみ金曜PMと第3木曜AM)

診療時間 AM9:00~12:00 PM15:00~18:00

		月	火	水	木	金
■長崎腎病院	AM	宮崎医師	原田医師	李医師	舩越医師 西野医師	原田医師
	PM	原田医師	李医師	宮崎医師	常勤医	舩越医師 泌尿器科
■長崎腎クリニック	AM	橋口医師				
	PM					

 医療法人衆和会 **NAGASAKI JIN GROUP**

長崎腎病院

〒850-0032

長崎市興善町5番1号

☎095(824)1101



長崎腎クリニック

〒851-2105

西彼杵郡時津町浦郷272-14

☎095(813)2777

